

ブラジル：S&Pが国債の格付けを引き下げ 不透明な政治情勢と経済政策実行の遅れが背景

HSBC投信株式会社

2015年9月10日

- ▶ S&Pはブラジル国債の格付けを引き下げ、外貨建長期債務は非投資適格の「BB+」に、自国通貨建長期債務は投資適格級では最低水準の「BBB-」に。見通しは「ネガティブ」
- ▶ 政府は今後一段の緊縮財政が必要に。財政再建を強力に推進し、実績を示すことが市場の信認を回復する鍵に

S&Pが国債格付けを引き下げ

- ▶ 9月9日(水)、米大手格付会社スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)は、ブラジル国債の格付けを引き下げました。
- ▶ 外貨建長期債務は「BBB-」から非投資適格級の「BB+」へと1ノッチ引き下げられ、見通しは「ネガティブ(弱含み)」となりました。ブラジルが投資適格級の格付けを失うのは2008年以来となります。
- ▶ 自国通貨建長期債務は「BBB+」から「BBB-」に2ノッチ引き下げられ、なお投資適格級は維持していますが、見通しは同じく「ネガティブ」です。
- ▶ なお、三大格付会社の他2社は、ブラジル国債の格付けを外貨建て、自国通貨建てとともに投資適格級にとどめています。

- ▶ 見通しを「ネガティブ」とした理由としては、財政状況がさらに悪化する可能性、政治情勢の混乱や経済の低迷により、さらに格下げとなる確率が3分の1以上あると見られること、を挙げています。但し、政治的不透明感が後退し、一貫した政策の遂行が期待できる状況となれば、見通しを「安定的」に引き上げる、ともしています。
- ▶ なお、外貨建てよりも、自国通貨建国債の格付けをより高くしている理由としては、ブラジル中央銀行の金融政策に対する信頼性、為替の変動相場制、資本市場の厚みを挙げています。

格下げの理由

- ▶ S&Pでは、今回の格下げの理由として、主に以下を挙げています。
- ① 政治情勢が流動的であり、ジルマ政権が年初に掲げた財政再建策を計画通り推進することが困難になっていること。
- ② 政府は、2016年度予算案で、プライマリーバランスの目標値を7月の下方修正(対国内総生産(GDP)比0.7%の黒字へ)からさらに引き下げ、0.3%の赤字としていること。
- ③ 景気の低迷が予想以上に深刻であり、S&Pでは、実質GDP成長率は2015年は-2.5%、2016年も-0.5%とマイナス成長を予想していること。

今後の見通し

- ▶ S&Pによるブラジル国債の格下げは、ある程度市場に織り込まれてはいたものの、今回の見通しが「ネガティブ」とされたこともあり、市場はこのニュースを悪材料と捉えるものと見られます(今回の格下げ発表は現地市場の引け後)。
- ▶ 格下げを受けて、今後、ブラジル政府は財政再建を一段と迫られ、歳出削減や増税を強化することが見込まれます。
- ▶ ブラジル市場は、来年以降、インフレ率の低下や利下げが見込まれるなどの好材料も見られず。今後は、政府が財政再建を推進し、実績を示すことが市場の信認を回復する大きな鍵になるものと見られます。

ブラジル国債格付け(2015年9月10日現在)

	外貨建長期債務	自国通貨建長期債務	見通し
スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)	BB+	BBB-	ネガティブ
ムーディーズ・インベスターズ・サービス	Baa3	Baa3	安定的
フィッチ・レーティングス	BBB	BBB	ネガティブ

出所：ブルームバーグの情報をもとにHSBC投信が作成

留意点

投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書(交付目論見書)」および「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認頂きご自身でご判断ください。

投資信託に係わる費用について

購入時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料 上限3.78%(税込)
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額 上限0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	運用管理費用(信託報酬) 上限年2.16%(税込)
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。「投資信託説明書(交付目論見書)」、「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」等でご確認ください。

※上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

※費用の料率につきましては、HSBC投信株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託に係るリスクや費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、かならず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号

加入協会 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会



ホームページ

www.assetmanagement.hsbc.com/jp



電話番号 03-3548-5690

(受付時間は営業日の午前9時~午後5時)

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、HSBC投信株式会社(以下、当社)が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。